

総会座談会 セッションA

テーマ「どうやって日本企業で順調に勤めるか？ - 人並みのコースをどう歩むか」

日時：2005年7月8日 16:00～16:50

場所；日本青年会

==== P A R T 1

7/8 総会での座談会 A のまとめ

1、日本での就職はまず日本語の能力が必要

場合によって、能力試験を受けたり、漢字級テストを受けたりする必要もある。

2、上司（仕事）に評価してもらうため、まず、周囲の日本人と同じように仕事ができる事が大事である。

3、現在日本の社会は競争社会であって、努力が必要で、日本人と同じ成果を出すため、日本人より、何倍、何十倍の努力が必要な場合もある。

4、残業は日本での企業が常時にあることだが、それは自分の勉強のため、実力を付けるためになると考えて要領よく頑張る必要がある。

5、上司に言われた仕事を黙々と頑張って、なるべく時間内に完成させる。文句を言わない。

6、一緒に仕事をする同僚とも交流して良好な人間関係をもつ。

7、日本の企業も外国社員の在籍があるなしにより会社に評価するようになってきたので、日本での外国人就職はしやすくなってきた。

8、企業の中で、頑張れば、実績があれば、必ず評価をしてくれる。

• ==== P A R T 2 =====

・【ロビンソン(パネラー)】；日本の企業は年功序列や終身雇用といった昔の社風形態から実力主義へと変わりつつあるが、でもやはり外国人にとって自分の会社で仕事をやっていくには様々なハードルがあると思う。会社で成功するために自分が日頃から行っている努力話、や特別な取り組み方法等を話しあってもらいたい。

- ・【梁】: 来日13年、就職して6年。職場での原則、一.出来ることは一所懸命やる。二、自慢はしない。三.上司には絶対服従。
- ・【林】; 24年前、NEC入社して今子会社にいる。経験として、一.実力は日本人の120%あって初めて日本人並みの能力と認められると思う。二.ハンデイはある、文書力、講演術。三.外国人でないと出来ないチャンスは来る。私も入社後2、3年に中国上海空港レーラシステムの受注で通訳の仕事が急に入り、受注成功で会社から表彰状もらった。残業は必要。ボーナスが大分違ってくる。
雇い主の視点が必要、自分が自分の国で、外人を雇ったらどうなるか自問なげるとおかれている立場を理解すると思う。
- ・【who?】: ITの外資系に3年いる。初めはハンデイばかり気にしていたが、最近是自己で積極的にアピールしている。
- ・【タン】: 外資系就職して2年未満、学歴より実力主義、出来る人間は昇進する。
.
- ・【ロビンソン(パネラー)】; 自分の会社も実力主義、外国交渉では出番がある、積極的に出た。国内作業の場合は顧客が日本の役所(役人)であるため一人で打ち合わせに行くようなおもて作業は全くない。黒子役ばかり。まだまだ閉鎖的な習慣がある。エンジニアとしてというよりも助士の立場で仕事をすることがおおい。同状況の方から話があれは。。。。
- ・【who?】; 職場は日本人有利と感じる、同じ仕事でも時間は掛かってしまうこと多い。努力は倍必要。一方で中国向けのプレゼンは有利だった。
転職経験あるが、勤労時間は変わらない。
- ・NECで事業部の支配人がいて、自分は何年で主任なって、何年で課長なって、何年で部長になって、何年で部長となって、何年で支配人になると計画して、全部その通りになったと課長研修で豪語した。これは、すなわち評価する上司に合わせて仕事を進めることであり、それはそれなりの生き方と思う。そういう人間もいるということだ。
- ・【楊】: OTISエレベータに就職している、,,,,
- ・【秋】; 最近外国人の就職も随分環境が変わったと思う。国際化が進んでいるのでないか?
- ・【沙】: 九州工大から6年前メーカーに就職。戦闘機の開発に従事、会社が出資して留学させたので、辞めさせてくれない。
- ・【アツ】: 人はそれぞれ、人並みというのは時代遅れの考えとも思う。
- ・【車】: パートタイムで仕事をしているが、外国人だから人並みは意味あんまりないのではないか?
.
- ・【口】; 皆さん会社で一生懸命に仕事をしていることがよくわかりました。外国人だから

という立場を理解されそれぞれの思想に従って行動をとっていることもわかった。

以上